

岐阜県長期構想の見直しを踏まえた県農林水産業振興の取組方向について

項目	事業概要	事業概要	※アンダーラインはH26新規取組み項目
1. 強い農業づくり、攻めの農業の展開、魅力ある農村づくり、それらを支える担い手づくり（農政部）			
①売れる農畜産物づくり	<p>○主要品目の生産振興</p> <p>●岐阜県の強みである主要品目の生産・流通・販売対策を一体的に推進</p>	<p><米></p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>機能性成分に着目した新たな需要の開拓を支援</u> ・高温登熟性、収量性に優れた新品種の育成 <p><トマト></p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>作型の組み合わせを指導（夏秋トマト）</u> ・<u>独立ポット耕技術の普及（冬春トマト）</u> <p><いちご></p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>選別・パック詰め作業などの共同化を支援</u> <p><えだまめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>選別・調整作業などの共同化を支援</u> ・作型（ハウス、トンネル、露地）に応じた品種選定・導入を支援 <p><かき></p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>園地情報の一元化と担い手とのマッチング支援、作業サポート体制の整備</u> ・早秋・太秋への改植を支援、「果宝柿」の高発生ほ場の解析 <p><花き></p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>商品開発、営業力強化のための専門家招聘による戦略会議の設置</u> ・オリジナル品種の育成と商品開発 	 <p>【トマト独立ポット耕】</p>  <p>【いちご共同パック詰め】</p>
	<p>○飛騨牛の生産振興</p> <p>●飛騨牛の高肉質維持・改良の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高品質な飛騨牛生産に不可欠な「牛づくり」と高い飼育技術を次世代へ伝承する「人づくり」を推進 ・首都圏・海外における飛騨牛のブランド向上に取り組み、価格の高位安定を目指す 	 <p>【全国和牛能力共進会（H24）】</p>
	<p>○水産業の振興</p> <p>●アユ資源の維持増殖・釣り人づくりの推進強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>長良川あゆパーク（仮称）の整備推進</u>、アユ釣りなどの釣り教室の開催を支援 ・天然アユのそ上量安定化に向けたふ化放流の取組強化、放流アユの生産供給体制の堅持 ・アユ資源確保のためのカワウ駆除対策の強化 ・<u>アユの海外販路の開拓</u>、養殖魚の消費拡大の取組支援 	 <p>【釣り教室】</p>

	<p>○農業研究の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コメ、飛騨牛等のブランド力向上、トマト単収倍増等の研究を推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・米：<u>高温耐性があり、おいしい品種の育成及び高品質生産技術の開発</u> ・飛騨牛：<u>肉色、旨味成分等の品質向上技術の確立、低コスト化増産技術の開発</u> ・豚：<u>霜降り豚肉種豚のさらなる高品質・低コスト生産</u> ・酪農：<u>人工授精技術を活用した優良牛の低コスト生産</u> ・園芸：<u>トマト単収倍増技術の確立、カキの長期貯蔵技術の確立（輸出対策）、鉢花種苗の保護技術の開発（同左）</u> ・水産：<u>アユのそ上予測、子持ちアユ生産技術等を用いた河川漁獲量・養殖生産量の増大</u> 	 <p>【種雄牛群】</p>
	<p>○家畜防疫体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●産業動物獣医師の育成・確保 ●家畜保健衛生所の機能強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内産業動物獣医師ネットワークの構築 ・岐阜大学との連携強化（動物由来感染症等の共同研究の検討、家畜保健衛生所でのインターンシップの受入など） ・県、市町村、獣医師会等の関係機関相互の連携促進 ・バイオセキュリティを向上し、高度病性鑑定機能を強化 	 <p>【病性鑑定】</p>
<p>②戦略的な流通・販売</p>	<p>○農産物の販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新たな輸出先・品目の開拓のための輸出体制の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・輸出相手国が求める認証、基準の情報収集及び情報提供 ・<u>アセアン地域に加え、EUを新たなターゲット国としてマーケット調査、テスト輸出を実施</u> ・マーケット情報発信や商談機会の提供 ・飛騨牛や富有柿などの県産農産物の試食やレストランでのフェア等による集中的なPR活動の展開 ・<u>日本食を特徴づける料理や食材等の流通拡大</u> 	 <p>【香港量販店の富有柿フェア】</p>
	<p>○6次産業化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ●商品販売力の強化 ●総合的なサポート体制を整備・強化 ●異業種ネットワークの構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>量販店での販売フェア開催、インターネットを活用した販売支援やマスコミなどへの情報発信</u> ・農業者等へ商品開発等の専門家を派遣、人材育成のための研修会を開催 ・女性起業グループ等の加工用機械等の整備を支援 ・<u>農業者・事業者等の情報をデータベース化し、マッチングに活用</u> ・<u>異業種間等のネットワーク化のための情報交換やマッチングの場を提供</u> ・<u>多様な事業者のネットワーク構築による商品開発や販路開拓、加工施設整備等を支援</u> 	 <p>【百貨店等のバイヤーとの商談会】</p>

<p>③多様な担い手の育成・確保</p>	<p>○多様な担い手の育成・確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新規就農者育成に係る総合的な支援 ●企業の農業参入の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・冬春トマトの就農研修施設「岐阜県就農支援センター」を開設 ・就農相談のほかニーズに応じた就農支援研修を実施 ・就農研修施設の整備を支援 ・新規参入者及び後継者の機械・施設の整備を支援 ・新規就農者と地域の農業士等とのネットワーク化を支援 <ul style="list-style-type: none"> ・農業参入に必要な各種情報を一元的に提供、既に農業参入した企業をアドバイザーとして参入希望企業を支援 	 <p>【栽培技術の習得】</p>
	<p>○中山間地域の集落営農の組織化支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ●集落営農の組織化から経営安定化までを総合的に支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・「集落営農支援チーム」の派遣を強化 ・集落営農アドバイザー（専門家、実践リーダー等）の設置 ・集落活動をリードする集落リーダーの発掘・育成 ・集落の合意形成活動や経営安定化を目指した取組を支援 ・集落営農組織を担うオペレーター人材の育成 ・集落営農組織の農業機械の導入等を支援 	 <p>【集落座談会】</p>
<p>④魅力ある農村づくり</p>	<p>○鳥獣被害対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新たな捕獲技術の開発等「防護」と「捕獲」を一体的に推進 ●獣肉利活用の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・機動的、専門的な現地支援体制の整備 ・イノシシ、シカ、サルに加えカラスにも対応した「猪鹿鳥無猿柵（いのしかちょうむえんさく）」の普及 ・市町村鳥獣被害対策実施隊の広域的防護・捕獲活動を支援 ・岐阜大学や試験研究機関と連携した新たなシカ捕獲技術の開発・実証 ・カワウの生息数調査等駆除対策の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・衛生ガイドラインに則した獣肉処理加工を行うための施設整備を支援 ・ジビエのPR 	 <p>【防護柵の設置】</p>
	<p>○農村の生活環境整備の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ●中山間地域の農業生産基盤と農村生活環境の一体的整備推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の実情に応じた優良農地や農業用水の確保のための農業基盤の整備 ・地域生活に直結する集落道や集落排水など農村生活環境の整備 ・基幹的農道の整備 	 <p>【基幹農道】</p>

	<p>○都市と農村の交流推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ●グリーン・ツーリズムの受入体制の拡充と情報発信力の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・受入地域のネットワークづくりや農林漁業体験施設の登録等の受入体制づくり ・ガイドブックやメルマガを活用したPRの実施 ・新たな体験メニューづくりなどに取組む実践団体の活動を支援 ・<u>戦略会議の設置、「ぎふグリーン・ツーリズム」ブランドの構築</u> 	 <p>【自然体験】 (郡上八幡・山と川の学校/冒険キッズ)</p>
--	---	--	---

2. 需要者側のニーズに対応した高品質な木材製品を、低コストで安定的に供給できる体制の構築 (林政部)

<p>①木材生産 対策の推進</p>	<p>○効率的な木材生産の推進 【森林経営合理化プロジェクト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●木材生産の拡大 ●森林経営計画の策定 ●作業道の整備 ●高性能林業機械の導入など ●地域展開型森林づくりプロジェクトの推進 ●県営林の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・急傾斜地域における木材生産を拡大するため、<u>産学官連携による架線系作業システムの開発・普及</u> ・<u>木材の計画生産に必要な資金対策の強化及び木材生産情報の提供体制の構築</u> ・<u>伐採後の再造林対策の強化</u> ・森林経営の長期方針や路網計画、間伐計画等をまとめた「森林経営計画」の策定支援 ・効率的な木材生産を進めるため、基盤となる作業道の整備の拡充・強化 ・木材の生産性や労働安全性の向上を図るため、高性能林業機械の導入やレンタル経費を支援 ・<u>高性能林業機械の機械化チームの育成・強化</u> ・環境保全と効率的な木材生産の両立を目指す「健全で豊かな森林づくりプロジェクト」の全県的な普及・定着を図るため、「地域展開型森林づくりプロジェクト」を実施 ・県営林を核とした事業地を設定し、路網整備から木材生産までを一体的に行うモデル事業をプロポーザル方式で実施 	 <p>【欧州型架線集材システム】</p>
	<p>○効率的な木材生産を担う人材の育成・確保 【森林経営合理化プロジェクト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●施業プランナーの育成 ●森林技術者の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・「森林経営計画」の策定の中核を担う「森林施業プランナー」を育成 ・急傾斜地域における木材生産を拡大するため、<u>架線系作業システムに対応した人材を産学官連携により育成</u> ・<u>森林文化アカデミーとドイツロッテンブルグ大学との連携による人材育成、研究開発体制の強化</u> ・低コストで安全な現場作業を行う「森林技術者」や「森林作業道作設オペレーター」を育成 	 <p>【ドイツフォレスターによる研修】</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ●木材需給コーディネーターの育成 ●新規就業者の育成・確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・製材工場等の需要に応じた生産を行うための「木材需給コーディネーター」を育成 ・将来の担い手確保のため、農林高校生等を対象に林業事業体での職場体験を実施 ・林業の就業に向け必要な知識の習得などを行う若者に対して給付金を支給 ・<u>全国育樹祭の開催を通じた次代を担う森林技術者の育成</u>
<p>②木材加工 対策の推進</p>	<p>○優良県産材の安定供給体制の強化 【優良県産材供給倍増プロジェクト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●A材の加工体制の強化 ●B材の加工体制の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・郡上市において、A材（直材）を年間5～10万m³使用する大型製材工場の平成27年1月からの稼働に向けた整備を支援 ・品質や性能が確かな優良県産材の安定供給体制を強化するため、乾燥施設、グレーディングマシンなど施設整備を支援並びに<u>産学官連携による木材乾燥技術の開発・普及</u> ・森の合板工場へ原木の安定供給を図るため、合板用原木需給調整会議の開催を支援
<p>③県産材利用 対策の推進</p>	<p>○県産材の利用促進 【優良県産材供給倍増プロジェクト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●県産材住宅の建設促進 ●公共施設における県産材利用の促進 ●県産材を活用した新製品・新用途の開発 ●県産材製品の販路拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ・梁・桁等の構造材や内装材に一定量以上の県産材を使用した住宅の建築主に対し支援 ・原木供給者から工務店までが連携したグループが行う「ぎふ性能表示材」を利用した家づくりを支援 ・<u>地域の誇りである伝統的建築物の県産材による改修を促進</u> ・県産材の良さや利用する意義を普及するため、市町村等が行う公共施設の木造化・内装木質化を支援 ・県産材を活用した新製品の研究・開発や実証モデル施設の整備に対し支援 ・<u>海外輸出や他県との連携による首都圏・中京圏での販路拡大を促進</u> ・製材工場と建築士、工務店との商談会の開催、製品展示会への出展を支援



【木材乾燥機】



【地歌舞伎小屋など伝統的建築物】

